

子どもたちが華やかに神楽を奉納
～上小路子ども神楽～

4月14日(水)と15日(木)、上荒尾熊野座神社で「上小路子ども神楽」が奉納されました。この神楽は約160年の伝統があるとされ、平成14年に市の無形民俗文化財に指定されています。今年、高校生から小学校1年生までの16人の子どもたちが舞手をつとめ、十曲十二座の舞を奉納し、家内安全・五穀豊穡を祈願しました。神楽が奉納されるこの時期は毎年冷え込みますが、多くの人が訪れて奉納を見守り、拍手を送っていました。



1=「二剣」の舞 2=「二幣」の舞
剣を持った男児と、御幣を持った女児がそれぞれ2人で優雅に舞う。

科学技術に親しみ、未来を
～科学技術週間行事～

4月18日(日)、第51回科学技術週間行事が文化センターで行われました。子ども科学館の無料開放や荒尾少年少女発明クラブの活動紹介が行われたほか、熊本高等専門学校准教授の小田川裕之さんを招いて、講演・実験・製作が行われました。音波の不思議な世界についての講演の後、参加者はストローを使った楽器「ストロンボン」を製作して「さくら」を演奏したり、紙コップでスピーカーを製作し実際に視聴し、楽しく科学に触れ、目を輝かせていました。



▶紙コップで作ったスピーカーで音が聞えたら！身近なものを使って自ら製作し、「音波」の不思議について楽しく学んだ

荒尾を思い、地域を語るひととき
～市長と“まちづくり談義”開催～

3月25日(木)に野原公民館で、4月22日(木)に働く女性の家で、市長と、まちづくり談義が、それぞれ開催されました。これは市長が地域の皆さんと直接語り合い、市政への意見や提言をいただくものです。どちらの地域でも病院と競馬に関する質問があげられました。また、野原公民館では認定農業者や集会所の新設について、働く女性の家では屋形山の整備など、地域の問題などについて意見が寄せられました。

▶1 野原公民館(八幡小校区) 2 働く女性の家(一小校区)でのまちづくり談義の様子。ご参加ありがとうございました。



ここから新たな一歩がはじまる

PICK UP!

修復と周辺整備を終え、ついに一般公開!

～万田坑復坑祭—グランドオープン 2010 ①～



▲ テープカットに参加した松尾良枝さん(左)・千春さん(右)親子(向陽台)。記念のテープを手に「緊張しました」と話す笑顔は、2人ともとても晴れやかな

4月25日(日)、万田坑がついにグランドオープンを迎え、「万田坑復坑祭—グランドオープン2010—」と銘打ち、オープニングセレモニーとオープニングイベントが開催されました。

オープニングセレモニーの後、出炭開始から108年にちなみ、市民の皆さんと関係者108人によるテープカットが行われ、一般公開が始まりました。同時に多くの見学者が坑内につめかけ、万田坑には最盛期を思わせるにぎわいが戻りました。

万田坑だご汁が約千人に無料で振舞われたほか、周辺で開催されたフィールドイベントで地域の特産品などが販売されました。また、選炭場に設けられた特設ステージではオープニングイベントが催され、万田保育園園児によ



▲ 市の観光大使で、万田坑一日坑長を務めた関島秀樹さん(左)と嘉門達夫さん(右)。軽妙なトークと迫力のライブで、復坑祭を盛り上げていただいた

るくす玉割り、荒尾太鼓やさのよい踊り、あらお観光大使である嘉門達夫さんと関島秀樹さんによるスペシャルライブが行われました。

イベントの最後には、10団体と市民の皆さん合わせて200人を超える参加による炭坑節総踊りが行われました。

万田坑の「新たな一歩」は、心地よい晴天のもとで約1万人の来訪者に祝福され、力強く大きく踏み出されました。

●次号では、5月1日～5日に行われたGWイベントの様子をお伝えします。



▲ オリジナルフレーム切手「万田坑」が、荒尾郵便局長から前畑市長に手渡された。「世界遺産登録の弾みにしたい」と前畑市長。1シート900円で限定販売中



▲お菓子、特産品などの物品販売もにぎわった。地域の魅力もあわせて発信



▲ 両親と大牟田在住の祖母と参加した不動寺旺汰くん、春紀くん、辰美くん(左から・久留米市)。竹炭を練りこんだ「だご」の入っただご汁(手前。黒いのが石炭に見立てた「だご」に「美味しい!」と、にっこり



▲ オープニングセレモニーに先立ち、演奏で会場を華やいだ雰囲気包んでくれた荒尾高校吹奏楽部のみなさん

市民の手による恒例のまつりも併せて開催!

■ 万田坑市民まつり

4月29日(木・祝)、万田坑市民まつり(万田坑市民まつり実行委員会 主催)が行われ、およそ千200人が訪れました。

快晴の空の下、坑内ガイドや、地域住民らによるお楽しみ演芸発表が行われたほか、炭坑節総踊りや特産品などが当たるビンゴゲームなど訪れた人も参加できる催しも行われました。

また、朝からは万田坑スケッチ大会も行われ、市内外から中学生などが多数参加しました。参加者は万田坑や周囲の風景を、のびのびと画用紙に描いていました。



写真●1=巻揚機室を真正面からスケッチ 2= 演芸大会を楽しむひととき 3= 万田保育園の年長園児が、ダンスの後「炭坑節」の合唱を披露。手作りキャップランプのかわいい炭坑マン